

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：健康長寿課  
 担当名：母子保健担当  
 内線：3561

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S236	未熟児等対策費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	未熟児等対策費	
事業期間	昭和34年度～	根拠法令	母子保健法第8条、第20条、埼玉県妊娠高血圧症候群等療養費支給要領		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	3
					分野施策	0402 子育て支援の充実	SDGsターゲット	3-2
1 事業概要			5 事業説明					
<p>未熟児は成熟して出生した児に比べて疾患にり患しやすく、死亡率が高いだけでなく心身の障害が残ることも多いことから、出生後速やかに適切な処置をとることが必要である。そのため、入院養育を要する未熟児に医療給付を行い、健全育成を図る。</p> <p>また、妊娠中毒症は放置すると心身障害児の出生原因となり、時には妊婦を死亡させるため、り患した妊婦の療養援護をすることにより母体の保護を図る。</p> <p>ア 未熟児養育医療 140,656千円                      イ 妊娠中毒症等療養援護費 79千円                      ウ 事務費 585千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 未熟児養育医療 140,656千円                      入院養育を要する未熟児に医療の給付を行う。給付は市町村が行い、県はその費用の1/4を負担する。</p> <p>イ 妊娠高血圧症候群等療養援護費 79千円                      妊娠高血圧症候群等にり患した妊婦の療養援護をする。</p> <p>ウ 事務費 585千円                      市町村における事業を円滑に進めるための経費</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 県内63市町村が実施主体となり、事業を実施する。                      イ 県が事業を実施する。(さいたま市・川越市・越谷市・川口市を除く)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>未熟児及び妊産婦の死亡、障害等を未然に防止できる。                      【活動指標(アウトプット)】長期かつ特殊な医療を安心して受けてもらう。                      市町村が行う未熟児に対する医療給付費用の1/4を負担。                      【成果指標(アウトカム)】健全な成育を図り、医療の充実につなげる。                      給付件数：(R4) 5,144件</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況                      市町村及び審査委託機関との連携を図っている。</p> <p>(5) その他                      未熟児養育医療は、権限移譲により、平成25年度から市町村が実施している。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
ア (国1/2・県1/4) 市1/4								
イ (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
(区分) 衛生費 (細目) 母子保健費								
(細目) 母子保健費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.4人=3,800千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	141,320					141,320	1,290	
前年額	140,030					140,030		

## 事業内訳書

事業名	未熟児等対策費		
単位事業名	未熟児養育医療	予算額	140,656千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	140,656	1,320	
合計	140,656	1,320	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	122	△1	養育医療審査委託料 基金107,390円＋国保14,493円
負担金、補助及び交付金	140,534	1,321	養育医療給付事業 140,534,000円
合計	140,656	1,320	

単位事業名	妊娠中毒症等療養援護費	予算額	79千円
-------	-------------	-----	------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	79	1	
合計	79	1	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
扶助費	79	1	妊娠中毒症療養援護 78,800円
合計	79	1	

単位事業名	事務費	予算額	585千円
-------	-----	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	585	△31	
合計	585	△31	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	125	△25	事務費 市町村への指導・監査 1,250円×2人×50回
需用費	460	△6	事務費経常費 427,000円 母子保健医療給付事業の手引き 325円×100冊
合計	585	△31	